

おしらせ

★平成17年4月から土日も**午後のみ開館**しています。

★図書館の開館日 祝日と年末年始(12/31~1/3)
蔵書点検日(年に1回2日間予定)

★問い合わせ先

西栗倉村教育委員会 あわくら会館図書係まで

☎0868-79-2216

E-mail:toshokan@vill.nishiwakura.okayama.jp

インターネットでの本予約は、利用者番号(図書カード番号)とパスワード(5050)を入力してください。

ご存じですか？ 図書館の本 Ⅲ

今月もこども図書館の月刊誌をご紹介します。先月紹介した『こどものとも』と同じ階段の上が

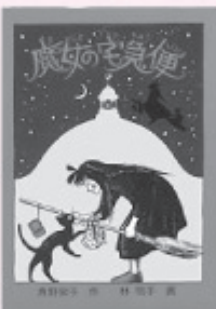


母の友10月号

り口の書棚に置いてある『母の友』です。「幼い子を育てる人、子どもに関わるすべての人のための雑誌」をコンセプトに、福音館から1953年に創刊されました。子育て中のお母さん・お父さんの迷いや悩みに答えてくれたり、心の

の支えになってもらえるような内容です。毎月「お話」のコーナーもあり、アニメにもなった『魔女の宅急便』などもここで初めて紹介されました。

今月は、「子育て中に力をもらった1冊」として先輩お母さんの経験が特集されています。



えっか
でえ~

「死神の精度」

著：伊坂幸太郎 文藝春秋

人間の価値観と死神の価値観の違いが楽しめる本でした。実際に死神がいたら人間のことをこんな風に見るのかなと思いました。死に神の下す判断にドキドキしながら、自分の考えとは違う方向へ進むストーリーにもまたドキドキ…。最後に長い時間がお話の中で過ぎていくことに気づき、死神から見ればちっぽけな人生でも、1日1日を一生懸命生きていく事って大切だなと思いました。(匿名希望)



図書館へ行こう！

児童書

今月の新着本

おどります ▶

作：高島純 絵本館



メケメケフラフラと、ぶたがおどります。うまがおどります。この絵本、ただただどうぶつたちがおどります。どうぞ、たっぷりとお楽しみください。それぞれの小道具にも個性がキラリ！

◀にわとりのおっばい

作：山本省三 講談社



「ねえ、にわとりにおっばいってあったかな。」なぎさの言葉を聞いて、だんだん教室じゅうが、わいわいがやがや。ああでもない、こうでもない。考え出すと、とまらない。それじゃあもう一度、自分で確かめてみない？

ムーン・コテージの猫たち ▶

作：マリリン・エドワーズ 研究社



すべての猫好きに贈る心温まる真実の物語。猫との生活がもたらす楽しみ、悩み、そして悲しみと希望。猫を飼ったことのある人なら世界中の誰もが知っている、猫のいる暮らしのすばらしさを新鮮な感性で生きいきと描き出す。

◀渡りをするチョウ

写真／文：佐藤英治 新日本出版社



“渡り”って、鳥だけだと思っていませんか？みなさんの身近にいる小さなチョウが、2000キロもの“渡り”をするなんて、信じられますか？アサギマダラに魅せられた著者が、カメラでとらえた渡りの姿とナゾの数々を美しい写真と文でお届けします。

一般書

▲恐竜スーのおくりのもの

著：松園直美 主婦の友社



主人公のコースケは個性が強く、学校ではみ出してしまうタイプの小学2年生。世界最大のティラノサウルスの化石“スー”を偶然に知った彼は、「“スー”に会いたい、化石ハンターになりたい」という大いなる夢を抱く。その夢に向かってコースケはどんなことをしたのか、そして彼を取り巻く人々がどのようにその夢を応援したのか。実践例ともいえるすばらしい実話が描かれる。

震度0 ▶

著：横山秀夫 朝日新聞社



映画化もされた『半落ち』の作者による“警察小説”。謎の失踪を遂げた警務課長を巡って巻き起こる、県警幹部たちの虚々実々の駆け引きと足の引っ張り合い……。真実はどこに！？

◀マグダラのマリアと聖杯

著：マーガレット・スター 英知出版



イエスにその罪をゆるされ、敬虔な信徒となり、十字架刑の最後を見届け、そしてイエスの復活を最初に目撃した、マグダラのマリアは、実はイエスの「花嫁」だった？世界中で大ベストセラーになった『ダ・ヴィンチ・コード』のアイデア形成の上で影響を与えた作品。映画『パッション』とあわせてどうぞ！

15歳の「お遍路」▶

著：岡田光永 廣済堂出版



3年間、不登校だった少年が、夏休み、たった一人で挑んだ自分探し1400キロの旅。